

ProSmallBoater 近藤利紀のコレがお気に入り！

人気の乾電池式コンパクト魚探にGPSプロッターが内蔵されたよ！

HONDEX

PS-501CN「ちょいナビ」

メーカーさんの努力ってすごいよね。だって乾電池式の魚探に、簡易版とはいえGPSプロッターが内蔵されるんだから。しかも、値段は4万円を切るという低価格。高額商品ならいくらすごい機能を搭載しても「へえ～」で終わるけど、低価格で高機能は、やっぱり「スゴイ！」。



近藤利紀プロフィール

KAZI、ボート俱楽部、スマールボート（舵社）、ルアーマガジン、ルアーマガジンルート（内外出版社）などのボート記事を、企画、取材、執筆、撮影、編集までこなすマガジンクリエーター。釣具メーカーと契約するプロアングラーという面も。ついにボート数据を所有し、実体験と現場主義にこだわる。1970年生まれ、神奈川県箱根町在住。家族は娘2人と妻1人。



標準ではちょいナビ本体と振動子（センサー）、トランザム金具の3点セット。釣りに使うなら、オプションの水温センサーは必須ですよ！



KAZI、ボート俱楽部、スマールボート（舵社）、ルアーマガジン、ルアーマガジンルート（内外出版社）などのボート記事を、企画、取材、執筆、撮影、編集までこなすマガジンクリエーター。釣具メーカーと契約するプロアングラーという面も。ついにボート数据を所有し、実体験と現場主義にこだわる。1970年生まれ、神奈川県箱根町在住。家族は娘2人と妻1人。

ボタンの数は最小限だし、日本語表記なのでとても分かりやすい。ホンデックスの乾電池式魚探シリーズは、すべて防水仕様なので、水をかぶるやすいスマールボートに最適だよね。

魚探部分に関しては、ちょいナビと同時発売となるPS-500Cと同じで、これは昨年までのHE-51Cとほぼ同性能同機能。魚探性能としては、振動子を適正に取り付ければ、水深100メートルくらいまでが実用範囲。振動子の周波数は200キロヘルツなので、海と湖のどちらの釣りでも使える。最近は湖でのワカサギ釣りでも魚探は必携アイテムだからね。

やはりコンパクトさで選ぶ！

GPSプロッターは縮尺800メートル以上でないと表示されないので、細かいポイントには対応できない。でも、航跡は記憶してくれるし、根や魚が釣れたポイントを登録しておける。もちろんポイントへのナビゲートもしてくれるの

はやはり便利だ。また、出艇地を登録しておけるので、万が一の豪雨や濃霧で粗界が効かない

ギ釣りでも魚探は必携アイテムだからね。

そうそう、この乾電池式魚探って、PWC（水上オートバイ）やカヤックで釣りをしている人にも絶大な人気があるから、PWCプロッターが搭載されたこのちょいナビは、まさに「引手数多（ひくてあまた）」だろうねえ！

ちょいナビは発売前から大人気で、やつと僕のボート釣りにおいては、軽量コンパクトな道具はやはり便利。写真では紹介してないけど、オプションの万能クランプ（BPO-3）を使って本体と振動子を一体化させると、究極のコンパクトGPSプロッター魚探になる。

3万円台のGPSプロッター魚探！

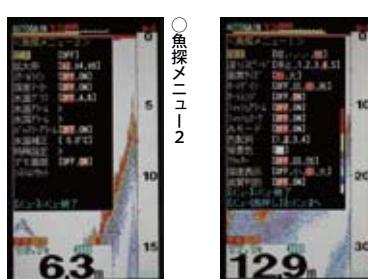
ときの水先案内人としても心強いよね。

ちょいナビを本格的なGPSプロッターが搭載された10万円台の上位モデル（6インチは生産終了で残念！）と比較すると、かなりコンパクトであることが分かる。とくに荷物が多いボート釣りにおいては、軽量コンパクトな道具はやはり便利。写真では紹介してないけど、オ

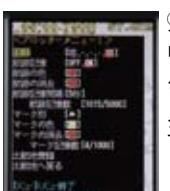
プションの万能クランプ（BPO-3）を使って本体と振動子を一体化させると、究極のコンパクトGPSプロッター魚探になる。



12ボルト仕様なので、単三乾電池8本を使う。エネループなどの充電式乾電池と組み合わせると最強だよね。



分かりやすい
メニュー画面で
設定も楽々！



近藤利紀著「2馬力ボートのすべて」（舵社）主要WEB書店で好評販売中!!

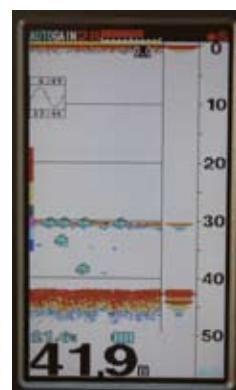
850カンデラの高輝度液晶で、直射日光下でも画面に表示される反応はしっかり見えるよ！

※注：写真は見やすくするために暗幕を使って撮影しています。

○航法画面

○魚探画面

○プロッター画面



スマールボートの航行ではあまりこの表示を使うことはないだろう。

拡大画面の同時表示も可能。つまりこの表示を使うことはないだろう。

左上の緯度経度は現在地、目的地と出艇地（設定時）がそれぞれの状況で表示される。